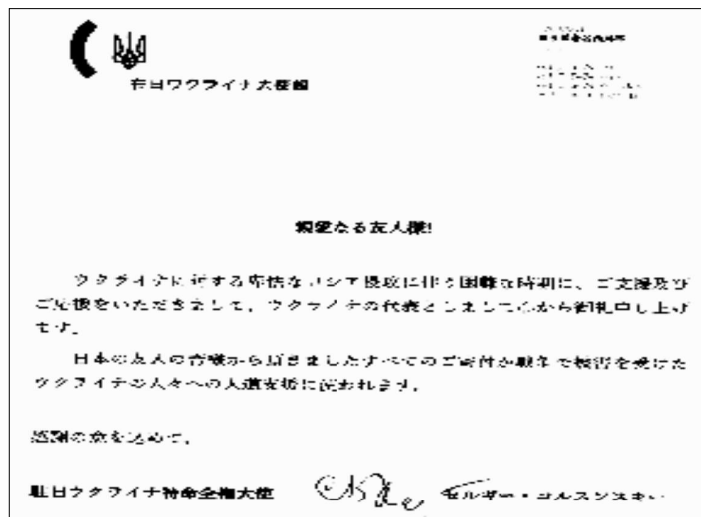


# くろしお

## 第107号 2023年3月

### ウクライナ支援活動 代表 小澤 利政



標記ウクライナ支援につきまして募金をお願いしましたところ、12月中旬から1月15日までの1か月と短期間ではありましたが、下記の通り会員をはじめ多くの賛同者の皆様より多額のご寄付を頂きました。ここに御礼と経過報告を申し上げます。

会員	54家族	141口
非会員	141家族 (2団体含む)	269口
合計	195家族	410口
(1口1000円)		

1月23日にウクライナ大使館銀行口座へ410,000円を振り込みました。

当初、カイロを送る旨でお声掛けをしましたが、郵便局へ問い合わせたところ、航空便ですのでカイロメーカーの指定があり、現物を送るのは難しいと判断をしました。そこでウクライナ大使館に問い合わせをし、今現実にはどのような支援が良いのかお聞きして、当方の希望を申しました。

カイロの現物は大使館にもたくさん届いていますが、それを送る為の送料が不足していて、送れないでいるとのことでした。そこで送料の

NPO法人NALC・銚子拠点  
事務所・銚子市春日町2736-2小澤方

発行責任者 小澤利政

編集責任者 高根 武

一部に使って頂くということで振り込みました。翌日、ウクライナ大使館よりメールで左記の感謝状が届きました。

後日、テレビでウクライナへ13トンのカイロが送られた旨放映されていましたので、その一助になったと思っています。

ご協力していただきました皆様、誠にありがとうございました。

## 味噌作りを体験して

野村 健一

この3年間、コロナ禍で味噌作りを中止していましたが、今年、ようやく実施出来るようになりました。ナルクの今年最初の大きな行事です。私にとっては、初めての味噌作りです。1月31日9時からJAちばみどり営農センター銚子で行ないました。前日に担当の人が大豆をよく洗い、水に浸して置きました。私は味噌作りに関しては何も知識がなかった為、前もってインターネットで調べて動画を観ました。すると、知らない事が多く有りました。

たとえば、水に一晩浸けて置くと大豆の大きさが3~4倍になること。塩の量が思ったより多かったこと。容器に味噌を入れる時に空気が入らないようにする。また、カビが発生しやすいので、気泡が残らないようにする。味噌を作ったら1ヶ月ぐらいで食べられるものと、思っていました。また、三角巾の被り方を妻に教えて貰いました。今まで三角巾を一度も被った事がなかったので。妻に笑われました。

味噌作りの当日、会場に着くと、味噌作りの設備が整っていてびっくりしました。今回は大豆 36kg 塩 18kg 麴 54kg で味噌を作ります。作業分担は男性陣が大豆を煮る作業を行い、女性陣がその他の作業を分担して進めて行きました。

大豆を煮る圧力釜は3つあって、蓋には圧力計が付いていました。火をつけて安全弁出口より、蒸気が+出てきて圧力が一定の処でキー



プする様に火の調整を行っていましたが、調整に手間取りました。条件は一緒でも、圧力釜の状態が違って困惑しました。私以外は経験が長く、各々得意分野をフルに活かして、作業を進めて行きました。

釜で煮た大豆を作業台に乗せ、うちわで扇ぎながら塩を混ぜて温度を確認し、人肌の状態になってから麴を入れて、再度よく混ぜて固まりがない状態にしてミキサーの機械に投入し、ミンチ状態にしました。私にとっては何もかもが初めてで、68歳になっても新鮮に感じました。

作業が終わった所より掃除を行い使用した圧力鍋、道具類、床面も使用する前より綺麗にする気持ちで、掃除を行いました。朝9時に始まった味噌作りは、午後3時に無事に終了しました。

私にとっては良い経験になりました。みなさんのバイタリティーにはいつも驚きます。今年の秋ごろには味噌が熟成し、ようやく食べられようになるはずです。それまでは楽しみに待ちたいと思います。

### 向後 芳江

1月最後の1月31日(火)、風は冷たかったですが晴天で気持ちの良い1日でした。今回は3年ぶりの味噌作りの再開という事でした。今年はコロナの影響により、施設の利用人数にも制限があり、15名までという事で「男性7人、女性8人」の参加でした。

作業は朝9時から始まり15時頃には終了しました。3年ぶりとはいえ、”大豆を煮る人、大豆を冷まし塩と麴を混ぜる人、味噌をつくる人、容器に詰める人”など、大変手際が良くまるで職人技?でした。

私は鷲尾さんの奥様にご指導いただき、容器を消毒して詰める事を担当させていただきました。”空気をなるべく抜くように詰めることが

重要”など色々コツを教えてくださいました。終わる頃には大分上手になったかしら?

皆さんで一生懸命作ったお味噌です。数ヶ月後にはきっと美味しい・美味しい、お味噌ができています。とっても楽しみです。皆さん美味しいお味噌汁を味わってくださいね。ありがとうございました。

## 東総地区クリーンセンター見学 野村 健一

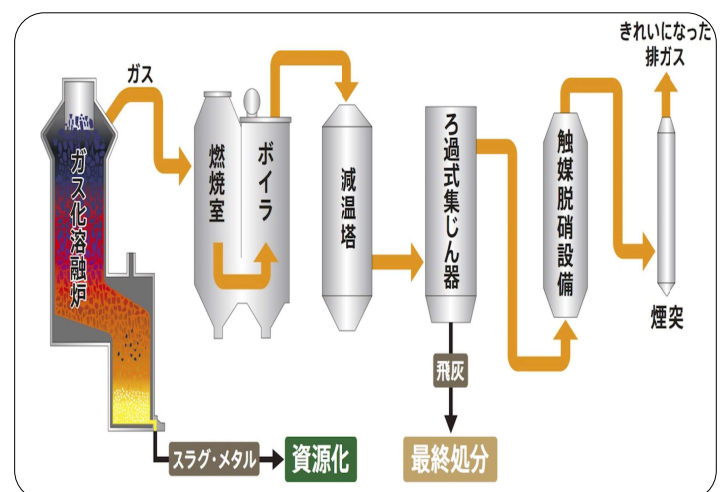
2月の定例会は東総クリーンセンターで行われました。会議は約1時間で終了し、その後、ごみ焼却場の説明を聞き見学を行いました。

クリーンセンターには、2回ほど粗大ごみを持って行った事がありました。銚子市、旭市、匝瑳市の家庭から排出されたごみをどのように処理しているか、以前より興味が有り、機会があれば見学したいと思っていました。最初にクリーンセンターの職員より施設の概要の説明を聞き、その後質疑応答の形で分からないことや、疑問に思うことを答えて貰いました。

最新鋭の焼却施設で、ごみを燃やすのではなく、溶かしてそれを資源(スラグやメタル)に加工して販売し、焼却の際、発生する熱を蒸気タービン発電して電力を施設で使用して、余った電力は電力会社に売っているとのことでした。

銚子の旧施設は流動式燃焼で800~850℃に対して、ここの施設は直接溶解方式で、1700~1800℃でごみを溶かすことが可能である為、ボランティア活動で行っている海岸清掃の時集めた缶、及びペットボトルは汚れているため可燃物として一緒に出しても問題ないと説明があり、今後は気を使わなくてよいことがわかりました。

### 可燃ゴミ償却の概念図



燃焼温度が高い為、最終残渣が旧施設より1/4～1/3に減少し、最終処分場にも負担がかからないことなど、今まで知らなかったことが分かってよい勉強になりました。煙突から出る排ガスも連続測定し、その結果をいつも施設の外に表示しているとのことでした。

質疑応答の後、現場の見学に行きました。見学通路も整備されていて、設備を見学出来るようになっていました。中央制御室では自動制御システムになっていて、24時間連続運転で管理している状況を見ることができ感動しました。ごみの処理施設ですが、匂いが全くしないのには驚きでした。

日頃より私はごみに敬称を付けて「ごみさん」と呼んでいます。ごみの出し方（特に有害物質）等に注意をし、ごみの集積場の管理等これまで以上に気を付け、また、環境問題にも興味を持って今後も活動していきたいと思っています。

## 七つ池の整備活動～桜の植樹～ 高根 武

1月22日、整備作業に参加している各団体や個人が集まり、桜の植樹が行われました。往年の桜の名所が蘇ることを願い、指定された場所に桜の苗木を植えました。

作業終了後、会員などから提供された果物、甘酒、豚汁を美味しく頂きました。



今は未だか弱き苗、大きく育て！

奉仕活動		1月		2月	
活動内容	活動会員名	人数	時間	人数	時間
福祉	安井	1	2	1	1
子育て	小澤2.澤野2.鷺尾2.辻谷2. 高根、青木、長谷川、藤島、石毛、鈴木、門倉、 宮内美、白土、設楽、佐相、海宝、仲、宮内博、向後、野村	24	72	0	0
NALC活動	小澤2、藤島、長谷川、鈴木久、仲、澤野文、鷺尾孝、高根、青木輝、白土、滑川	12	24	11	22
環境	小澤2、藤島、長谷川、鈴木久、仲、澤野2、鷺尾孝、白土、高根、青木、石毛、和田、野村、向後、辻谷2、佐相、宮内博、門倉、内藤、神原2、 保立、、安藤清、秋山、林洋林和、安高、設楽、星野美	30	67	24	76
その他 (PC)					
合計		36	165	27	99

## 時間預託活動

活動内容	1月		2月	
	人数	時間	人数	時間
犬の散歩等				
草刈その他				
家庭内	1	1	1	2
同好会講師	2	4	1	2
病院付き添い				
その他(pc)				
合計	3	5	2	4

## 同好会・奉仕活動

コロナの影響で活動が中止や変更になっています。  
連絡網、予定表などをご確認ください

## 今月の文藝

鉢倒れ美人の水仙困り顔  
花曇り人それぞれに朝駅  
春うらら紙芝居終えまたきてね  
海岸を巡る奉仕に春来る  
七池往時を偲び桜植える  
か弱き苗よ大きく育て  
笛吹庵

恵 一戸建



会名	開催日時	担当者
ぶっくぶっく朗読の会	毎月第4木曜日 pm1:30~3:30	小澤康
料理教室	毎月第2木曜日 am10:00~12:00 市民センター	仲
サークル 硯	毎月第1金曜 am9:30~11:30 市民センター	鷺尾孝
カラオケ同好会	毎月第2木曜 pm2:00~ ふる里	青木輝
パソコンクラブ	第4金曜日 am9:30~	高根
ウォーキングクラブ	第1月曜日 am9:30~	高根
お茶っこクラブ		長谷川
松籟の丘ボランティア	毎月第4火曜日 pm1:30 澤野宅集合	鈴木久
ぐるぐるサミット つくしんぼサミット	毎月第2火曜日 澤野会員宅 毎月最終木曜日 西海鹿島つくしんぼ	澤野文 長谷川

## 事務局だより

銚子市のゴミの出し方が大幅に変わってから、ごみ分別の説明書を見ても何となく曖昧でよくわからなかった。ガラス・陶磁器と一緒に普通ゴミに入れるなんて考えられなくて、ついつい不燃ごみの箱が一杯になっていた。見学に行き、説明を受けて納得しました。

私たちの周りにもよくわからないまま過ごしていることがあると思います。そんな事を一報下さい。皆で考え調べたいと思います。